

# 新しん 緑みどり ニュース



## 病院の理念

確かな医療技術  
やさしい対応  
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん  
**医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院**  
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7  
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271  
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



## 当科が行う婦人科手術

婦人科部長 清河 薫

当然のことを言うようですが、手術患者に最も理解してほしいポイントは「自分はなぜ手術をするのか？」ということ。答えは単純で「検査・診断のため」と「治療のため」の二つになります。

臨床において診断のために諸々な検査を行います。しかしながら、血液検査や画像検査をはじめ、さらには細胞や組織検査を行っても診断に至らないことも珍しくありません。そこで手術により得られた検体を用いて確実な診断を行うことが求められます。一方、様々な薬物治療を施しても症状がよくなる症例も多く遭遇します。そこで原因病巣を取り除くことで症状の改善を図る手段として手術を行います。勿論、明確な区別はなく「検査・診断」と「治療」の両方を目的とした手術も数多く行われています。



当科の実例をあげますと、子宮内膜全面搔爬(そうは)術は主に子宮内部の病変を診断するために行います。腔式卵巣嚢腫穿刺・アルコール固定術は、検体を採取できないため確定診断はできませんが卵巣嚢腫を針孔だけで治療する手術です。子宮頸部円錐切除術は主に子宮頸部異形成(子宮頸癌の前癌病変)の診断と治療の両方を同時に行う手術です。



当科ではこれらをすべてを経腔的に数分から30分以内に実施します。実際の臨床データで示すように出血や感染などの合併症リスクもほぼ皆無で全例日帰り手術となっています。

当科が行う子宮全摘手術についてもご紹介いたします。子宮筋腫・子宮腺筋症・子宮頸部異形成・骨盤臓器脱等の疾患を対象に子宮全摘を含む根治手術を行っています。主に中・高年のご婦人を手術対象とするため、子宮がんの合併の有無に最大限の注意を払っております。術前の

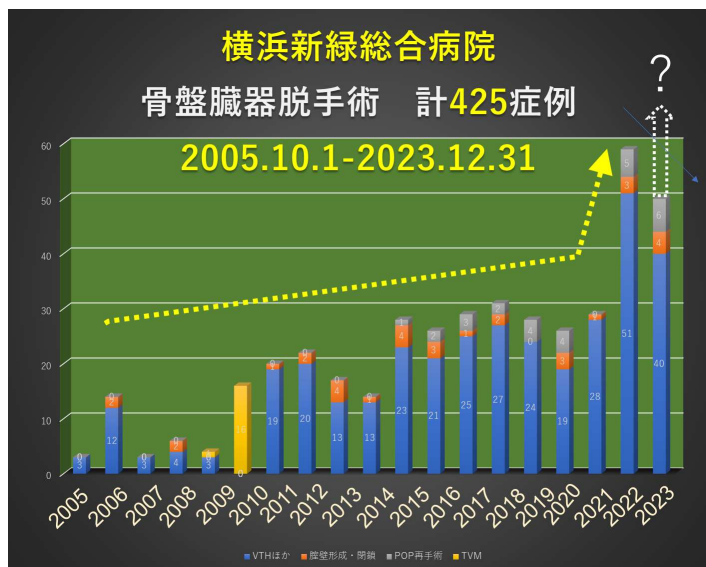
子宮頸部・体部の細胞診はもちろんのこと超音波による画像検査も必ず行うようにしています。



しかしながら、術後の手術検体の病理検査でようやく悪性疾患と判明することがあります。この場合、手術の際に子宮を如何に一体的に摘出したかどうかで予後を左右することがあります。とはいうものの、多くの施設では術前の諸検査で悪性疾患のリスクが低い症例に対してはそれぞれが考える負担の少ない手術方法を採用しているものと思われます。

当科では、例えば分娩歴があり子宮の動きがいい症例についてはお腹を切らない腔式子宮全摘手術を実施しています。とくに骨盤臓器脱手術では子宮下垂を伴うので術野が良好であり、通常の子宮全摘術のあと子宮支持靭帯や筋膜の縫合処理をして、最後に会陰部形成術を行う全行程が一時間足らずで終了します。そのため術後の回復が早く、通常48時間程度で歩行を初めとする日常の活動を始めることができます。術後からすぐにQOLの改善を実感され大変喜ばれる手術と認識しております。

詳しい手術実績は当院ホームページにて開示していますのでぜひご覧ください。





# 認定看護師のご紹介

5階東病棟 中須 千晶 (皮膚排泄ケア認定看護師)

昨年度、皮膚・排泄ケアの認定看護師教育課程を修了しました。

褥瘡(床ずれ)やスキンケア、ストーマ(人工肛門)の分野において、看護の質の向上を目指し活動しています。皮膚・排泄ケアのことでお困りのことがあればご相談ください。



## 冬太りを解消しよう!

管理栄養士 大平 真衣

冬は寒さから自宅にいる時間が増え、動量が減る一方でお菓子やみかんなどつい手が伸びてしまいがちです。

増えてしまった体重は早めに元に戻したいですね。体重1kgを減らすには「7000kcal」のエネルギー消費や摂取エネルギーを減らすことが必要です。1か月で1kg減らすには「7000kcal÷30日=230kcal/日」を1日で調整することになります。

食事・運動を組み合わせれば大きな負担なく取り組めるため、できるものを組み合わせでチャレンジしてみてもいいでしょうか。

「1日230kcal」の例：食事・運動から1つずつ選んで組み合わせてみましょう!

### 【食 事】

- 夕食の米飯を半分にする(150→75g)
- 大福1個→半分
- ビール500ml→糖質0ビール350ml

### 【運動(体重60kgの方)】

- 買い物を車を使わず歩いていく(片道30分)
- 夕方に1時間散歩する
- 通勤時にバスに乗らず、片道20分速歩する



## 地域向け健康講座を開催します。

- 【日 時】令和6年2月17日(土) 午前10時
- 【講 師】横浜新緑総合病院 外科・消化器外科部長 平山亮一
- 【演 題】その膨らみ、痛み そけいヘルニア(脱腸)かもしれません
- 【会 場】横浜市長津田地域ケアプラザ 多目的ホール
- 【申 込】長津田地域ケアプラザ 松本・原 (TEL: 045-981-7755)

無料



申し込みフォーム

地域向け健康講座  
 避けておきたいお悩みは何か  
 その膨らみ、痛み そけいヘルニア(脱腸)かもしれません  
 足付け後の膨らみ、実は気になっていませんか?  
 履物の中で、一番多いのが履物で正式なヘルニアです。  
 日でも何人かの患者さんがおられますが、多くの場合無症状です。  
 痛みの「気づかない痛み」のイメージがあり、安静を要する方も多くみられます。  
 適切な治療、適切な自己診断の仕方など、わかりやすくお話しします。  
 お気軽にご参加ください。  
 講 師： 医師がそけいヘルニアの個別相談を実施します(希望者のみ)  
 ● 日 時： 令和6年2月17日(土) (9時45分より受付) 10:00 ~ 11:00  
 ● 持ち物： 室内履き、筆記用具、飲み物など  
 ● 講 師： 横浜新緑総合病院 外科・消化器外科 部長 平山亮一氏  
 ● 会 場： 横浜市長津田地域ケアプラザ 多目的ホール 2F20-0027 横浜新緑総合病院長津田2丁目1-1-2  
 ● 参 加： 無料  
 お申込み QRコードでのお申込み  
 横浜市長津田地域ケアプラザ 045-981-7755  
 担当： 松本・原 (平日 9時~17時)

## 「ふたり主治医制」を推進しています。

厚生労働省は医療機関の機能に応じた役割分担と医療連携を進めています。

当院は救急病院として、救急患者さまやクリニックでの検査・治療が困難な患者さまの診療を行う役割を担っています。そのような患者さまをより多く受け入れるため、当院では「ふたり主治医制」を推進し、治療方針や処方内容が決まり病状が安定した患者さまには、担当医の判断のもと、地域のクリニックへ紹介させていただいております。紹介した患者さまの状態が変化した時にも、スムーズにクリニックと連携し、当院での治療を受けていただくことができます。

役割分担と医療連携(ふたり主治医制)について、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



## ～薬剤部～職員紹介

薬剤師歴3年目の職員紹介動画を公式YouTubeチャンネルに公開しました。《採用強化中》新卒・中途募集です!



## WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

病気や健康に関する情報を発信しています。Web版みんなの健康講座はホームページ、スマートフォン(QRコード)からいつでもご視聴いただけます。

